

学術講演会

第66回分子認識科学を基盤とする創薬研究会

演題：アルキンコバルト錯体を利用したカチオン環化反応

演者：南雲 紳史 教授（工学院大学 先進工学部）

日時：平成30年10月12日（金）16:30～17:30

場所：長崎大学薬学部 第2講義室（2F）

内容：

カチオン性タンデム環化反応は古くより研究されてきたが、今なお思いがけないことに出会える興味深いテーマである。南雲らは、両端に芳香環とイミニウムイオン、内部にアセチレンコバルト錯体と隣接したアルケンを有する鎖状化合物のタンデム環化反応を開発した。この反応は中員環を含む多環性化合物を生成するが、その縮環部の相対配置は芳香環の置換様式により逆転する。本講演では、その発現機構解明のために行った研究を中心に、カチオン環化の多様な挙動について紹介してもらう。

万障お繰り合わせの上ご参集下さい。

連絡先：

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科薬化学

田中 正一

TEL：095-819-2423

E-mail：matanaka@nagasaki-u.ac.jp

共催 下村脩博士ノーベル化学賞顕彰記念創薬研究教育センター